

◆日台交流サミットIN仙台



台湾とは、これからも大事な友好国として発展に努められればと思います。

◆スリーエム仙台市科学館視察



子供たちや親子でいっぱいでした。小松市の施設もこのようなAIを充実していくことが必要だと思いました。

◆新日本プロレス小松大会開催

会場：小松市末広体育館（義経アリーナ）



新日本プロレスの福祉チャリティー小松大会が8年連続となる興行が行われ1500人余りの観衆で盛り上がりました。実行委員長としては来年も小松大会を開催したいと思っています。ご来場の皆さん本当にありがとうございました。

◆日末小学校創立150周年記念式典



日末小学校創立150周年記念式典に出席させて頂きました。長い歴史の中宮本三郎画家も卒業された小学校です。これからも200年に向けて地域一丸となって守り続けていきたいと思えます。

◆串小学校4年生の特別授業へ



串小学校4年生の特別授業で串川公園の環境保全などについて串川公園おこし隊についての授業の講師を勤めさせて頂きました。生徒達からボランティアで串川公園を守って行きたいと力強い言葉を聞き感動しました😊🌿串川公園のこれからは楽しみです。

◆おってかあ～



11月のまちカフェおってかあ～では、千支の龍やクリスマスツリーなど、九谷焼きの絵付けを楽しみました。

◆食事会

(御幸地区社会福祉協議会)



一人暮らしの皆様にも食事会で一時を過ごして頂きました。ランチタイムの音楽として竖琴を楽しみました。



串川公園・佐美町の復旧を要望中！



串川公園

一月一日の強い地震により、串川公園も液状化被害のため、対策が必要となりました。現在立ち入り禁止になっています。

佐美町でもバス停が傾くなど被害が出ています。



佐美町

かわさき順次 News'

市政報告

地域活動報告

令和6年
新春号



芦城公園

平素より多大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
旧年中は、様々な活動に深いご理解と温かいご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年は一月一日に発生した石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」において、お亡くなりになりました方々に対しまして、心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に、お見舞いを申し上げます。小松市でも強い地震のため被害が発生し、現在被災支援と安全確認、復興対応に努めております。本年は大変なお正月を迎えることになりましたが、来たる3月16日に北陸新幹線小松駅の開業を迎え、小松市にとって100年に一度とも言える好機の年となります。また市制100周年の節目となる2040年に向けて2040年ビジョンも発表されました。このビジョンに向けては厳しい道のりも予想されますが、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて「小松を明るく、にぎやかに！」を合言葉に、本年も皆さまと共に頑張つてまいりたいと思っております。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で幸多い明るい年でありますように心からお祈り申し上げ新春のご挨拶とさせていただきます。

小松市議会議員 川崎順次



小松市議会本会議／定例会 質問内容を抜粋！

小松市議会議員
川崎 順次



令和5年12月定例会

代表質問

小松市2040年ビジョン

▼デジタルブック

【01】世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ
【02】ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ
【03】子どもたちの輝く未来創造都市こまつ
【04】誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ
【05】自然が映え文化が息づくふるさとこまつ
【06】ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

2040年ビジョン実現に向け挑戦

2040年ビジョンの6つの都市像について

- Q 何を一番に重点的に進めていくのか？
- A 人口減少問題対策として、企業誘致、産業創生で仕事をつくり出すことが最も重要と考えている。若い世代が仕事を得て、家庭を築き、新しい家庭が誕生する流れをつくり出したい。子育てするならダントツ小松の取組を拡充し、未来を担う子どもたちの成長と未来を応援するとともに、若い世代から選ばれるまちを目指すことが重要な取組と考えている。

栗津駅周辺の整備について

- Q 以前から強く要望している、駅西口の整備は？
- A 駅西広場、東西連絡通路の整備によりバスやタクシー・自家用車などの乗り入れが可能な状態となり、栗津駅西口からコマツ栗津工場、公立小松大学、工業団地、市民病院、小松空港等への移動の利便性が飛躍的に向上すると期待している。
- Q 栗津駅周辺整備のスケジュールは？
- A 来年度から駅東西連絡通路、駅西広場整備に関わる用地取得に着手。令和7年度から東ラウンドアバウト整備開始予定、令和8年度から駅東西連絡通路整備工事開始予定、令和10年度末完成を目指す。

栗津駅周辺整備費 予算額:2,600万円

■栗津駅を横断する東西自由通路を核とした駅周辺の整備を行い、「より使いやすい」、「安全・安心」な駅を目指します

◆補正内容
○鉄道関連施設移設計画
⇒来年度より用地取得、令和7年度～工事着手（予定）



栗津駅周辺整備イメージ

安宅エリアについて

- Q 小松空港から小松を訪れた方が最初に行く観光地として磨きをあげる仕掛けとして、小松空港から安宅の間までの間を勧進帳花道道路として整備できないか？
- A ビジョンにも掲げている空港周辺の土地利用などを踏まえる必要があるため、現道2路線の改修や安全対策を基本に考えている。

市川團十郎丈の道場について

- Q 東京で市長、円地元市議とお会いした時、團十郎丈からぜひ安宅で道場を整備し、小松の子供歌舞伎の指導をしたいとのことであった。その後どのように話が進んでいるのか？
- A 團十郎丈とのご縁を大切に、御本人の御意向をお伺いしながら丁寧に対応していきたい。

未来型図書館について

- Q 具体的な立地所が、公会堂が立地する一団の土地との方針が示された。公会堂は老朽化が著しいものの、残念ながら都市公園法の制限もあり今の場所ではホール機能を持つ施設が建てられないことになったが、複合できるものは未来型図書館に集約し、図書館や博物館、教育研究センター跡地については、未来型図書館と芦城公園を一体的に整備してはどうか。
- A 複合施設として芦城公園と一体となった整備を想定している。



小松駅からのアクセスについて

- Q 小松駅から芦城公園までをつなぐ回路を整備できないか？
- A 町なかの地域資源を生かした回遊性創出等の方策について、市民と共に考え、新たな活気とにぎわいの創出を目指していきたい。

告示後住宅の防音工事について

- Q 平成6年12月21日以降に建てられた住宅も助成の対象になるよう、防衛省に求めていただけないか？
- A 騒音区域の見直し完了前までに対象となる世帯の範囲を拡大するよう防衛省に働きかけていく。
- Q 今の国際情勢、小松基地の重要性はますます高まっている。共存共栄を図るためにも地元住民に対する施策のため9条交付金を増額できないか？
- A 障害防止事業や民生安定事業等と併せ防衛省に強く求めていく。

安宅新産業団地の状況について

- Q 新たな産業団地の整備は？
- A 候補地3か所について年度内に整備地区を決定したい。

学校体育館の空調整備について

- Q 昨年の猛暑、近年の異常気象の中での教育活動を考えた場合、また地域の避難所にもなるため体育館にも空調の設備を急ぐ必要があるのではないかと？授業や部活など児童生徒のためにも大事だ。
- A 関係省庁へ必要な要望を上げ、学びの環境整備を検討していく。

放課後児童クラブについて

- Q 指導者確保のために給与や手当を本市として独自に上乗せの支援ができないか？
- A 支援員確保に関しては十分な手当がなされている。研修なども積極的に展開し、支援員の確保、雇用の継続に努めたい。
- Q 学校ではなく地域独自の学童クラブ、子育て支援センターの整備はできないか？
- A 国では学校施設を活用することとされており、体育館や図書館等で思い思いの活動ができる学校が最も適していると捉えている。

予算決算総括質疑

社会教育復興基金積立金

- Q 基金積立の目的は？
- A 未来型図書館の什器や備品等の購入へ活用予定。
- Q 公会堂の平成23年度耐震診断調査の結果は？
- A Is値0.75の指標に対して、南北方向は0.30～0.56、東西方向は0.26～1.69。
- Q 大ホール天井軽量化等の工事後のIs値に変化があったか？
- A Is値に大きな変化があったものではないが、工事により当面の危険性を回避した。
- Q 令和2年3月議会で、前市長に老朽化が著しい公会堂で安全性が保てないと質問。前市長は、一部の重い部分を取り除けば十分大丈夫、結果Is値は大きく上回った、完全にクリアしたとも答弁。この答弁は虚偽答弁にもあたると疑わざるを得ない。宮橋市長はどう受け取られるか？
- A 当時の市長は、当面の安全対策を確保してきたことに対して答弁されたのではないかと。事実と誤認があつての答弁と推察する。
- Q 長寿命化を図れるか？
- A 公会堂の躯体自体の補強が必要となり、建物内部への耐震壁設置など施設の機能が大きく損なわれてしまうことになる。
- Q 多くの案客を入れるイベントの一番大事な事は、命、安全である。今後の取組は？
- A これまでの公会堂に感謝しつつそのレガシーを大切にしながらも、これからの小松に向けてビジョンを持って挑戦していくことが今我々に課せられた使命であり、先送りできないのではないかと考えている。

定住促進費

- Q 小松をどうPRしていくのか？
- A 首都圏との行き来が非常にしやすく便利であること、子育てについてダントツであることのPRが重要と考えている。